

「喜びと 笑顔が広がる 重富校区」

平成 30 年 4 月 1 日発行

重富校区コミュニティ協議会

重富校区コミュニティ協議会

〒899-5652 鹿児島県始良市平松6252番地

電話：0995-73-7174 FAX：0995-73-7177

青少年育成部だより NO.3

青少年育成部長 上野 弘

平成 29 年度、地域の子供たちを慈しみ、見守り、育てるお手伝いをさせていただき、事を念頭に、当部が主体となって行いました活動の様子をご紹介します。

子供たちが『生まれて良かった、住んで良かった』と思える重富校区の人づくりに取り組んでまいりますので、今後ともご理解とご支援よろしくお願いいたします。

注目の年

部長 上野 弘

今年度は大河ドラマの影響で西郷隆盛が注目される年でした。鹿児島県の郷中教育についても触れられることも多く、青少年育成に関連した年代別教育の大切さも目に付いたことと思います。地域の教育力が低下している中で、上学年の生徒が下の学年の生徒を教育できる機会はめったにありません。今年を契機に大人の皆さんも大いに地域活動に参加してみてもはどうでしょうか。また新年度は鹿児島県が注目されるのと同時に始良市も注目されますし、重富校区も青少年育成の注目をされる年になると思います。地域の目として皆様方のご協力をお願いいたします。



和菓子作り体験

今年度も和菓子作りの体験学習が行われました。夏休みの7月末という一年で最も暑い時期に開催されましたが、たくさんの応募者の中から選ばれた40人の保護者と生徒さんが真剣に岩川中さんの指導に見いていました。それぞれのテーブルで、各自が教えられた方法で、練り切りや、着色に挑戦していました。みんな上手に完成することができて、大喜びでした。岩川さんの作成した見本もじゃんけんで、持ち帰ることもできて、とても充実した体験学習でした。



「サンテやまだ」を訪問して

重富校区コミュニティ協議会副会長 高味 英毅

早いもので、今年で6回目となるサンテやまだの訪問。この施設は知的障がい者就労支援施設です。以前は名前の通り凱旋門近くの山田にあった施設でした。ここに4年間通い、小中学生に交流をしてもらいました。そして平成28年、上水流自治会内に新築移転されてからはこちらを訪問しています。年に一回ですが、12月25日、小学生5人中学生4人の計9人の子どもたちが訪問しました。初めに施設長の有村さんから施設の説明と当日の活動についての話がありました。障がい者についての専門的な話には、じっと耳を傾けていたようです。その後、活動に移り、梅飾り、竹トンボ、割りばし入れの3つの班に分かれて、作業を始めました。細かい手作業が多かったにもかかわらず施設の皆さんのあたたかいご指導の下に立派な作品が完成しました。活動を通して、子どもたちはいろいろなことを感じたと思います。重富校区にこのような福祉施設があったということ、中でも自分の力で生活していくために頑張っている、そしてその人たちを支えている人がいるということ。これからも交流を図りながら、子ども達の貴重な体験活動を支えていきたいと思います。



あいらっ子見守り隊

あいらっ子見守り隊 隊長 岩下 陽太郎

あいらっ子見守り隊は、平成17年に校区の子どもたちの安心・安全を確保する事を目的に始められたボランティア活動で、主に立哨指導、登下校指導、下校引率、巡回指導等を行っております。私には小学生の子どもがいますが、雨の日や寒い日など隊員の方のおかげで安心・安全な環境で通学できていることを保護者として深く感謝しております。しかし隊員の方の中にはお孫さんなどが重富小にいない方も多くいらっっしゃいます。今年度隊長就任の依頼があった時、日頃のご恩返しになればということでお引き受けさせていただきました。隊員の皆様をはじめとした多くの目が事件や事故等の抑止力となり、校区内での児童の交通事故や犯罪(声掛け事案も含む)の件数が抑えられています。また、この活動は子どもたちだけではなく、地域全体で事故や犯罪も抑えられると言われております。これからも見守り隊の活動が地域全体の安心安全を確保するというをご理解いただき、可能であれば活動にご協力ください。平成29年度重富校区の登録隊員数は約20名ですが、もっと多くの皆様に参加していただきたいと願っております。



郷土に誇りと愛着を

重富小学校長 茶圓 正幸

重富小の修学旅行で熊本県を訪れたとき、重富校区について載せた自作パンフレットを熊本市で地元の方に配布する活動を行いました。後日パンフレットを見た方から学校に「魅力的な重富を訪ね、元気をもらいたい。」という趣旨の電話がありました。その頃、熊本は大地震で熊本城の天守閣も復興にはまだまだほど遠い状況でした。その時「重富ってすごいなあ」と思いました。改めて見直すと魅力的な場所がたくさんあることに気付きます。歴史や文化、伝統はもとより、海、山の自然の美しさも天下一品です。また、街も人口が増え続け、活気があります。鹿児島市や空港にも近く、便利な商業施設や駅もあります。国道が貫き、高速道路の出入り口もあり、発展性に優れた街です。作ったパンフレットもよかったせいか、外部から見た時、きっと価値のある街に感じられたのだと思います。重富の子どもたちには地元を愛し、ずっと地元に残りたいと思ってほしい。そのためには、まず、①重富の歴史や文化を深く学ばせ、よさを理解させることです。また、②地域にある海や野山で遊ばせ、行事などをたくさん体験させ、たっぷり地元自然に触れさせることです。さらに、③地元に住む大人や子ども同士交流を深め、広く皆で作り上げる営みをするということです。そして、誇りと愛着を持って自分のふるさとをしっかりと語れるようになることが大切だと考えます。今、重富は住みたい魅力たっぷりの様々な要素を持ったすばらしい街に変わろうとしています。

少年の主張

副部長 柿元 千代子

平成 30 年 2 月 17 日 毎年恒例の重富校区コミュニティ協議会青少年育成部主催の「少年の主張」発表会が開催されました。重富小学校の 5 年生と 6 年生の児童と重富中学校 1、2 年生の生徒合計 16 名の子供たちが、重富の自然の素晴らしさ、自分の楽しかった体験や感じたこと、自分自身の夢や希望などに加えて自分の人生観、家族愛、さらには今、自分が実践していることなどをみんな元気にそしてのびのびと発表しました。

会場には家族や地域の人々が大勢集まり満員となり、子供たちの主張に感動し、そして子供たちの成長に目を細め熱心に聞き入りました。

今回で第 36 回という長い歴史を持つこの行事を今後とも継続し、地域の宝である「重富っ子」を健全育成し、優しいまなざしで見守り続けることは私たち大人の大切な責任であると強く感じる一日でした。



5 年

松下倅汰	ぼくたちの大切な自然
八重尾理子	あいさつで良さいっぱい
沼田菜々	大切な重富の自然
吉永日和	叱られるということ
鮫島響	わたしは双子
中原大成	心を強く

6 年

山本奏	私の夢
吉福大輝	いじめや差別について
福田みなみ	六年間と次への準備
池田悠莉	あきらめない心を大切に
濱田寧々	いつかきっと
高田颯	ぼくは認知症サポーター



1 年

安部隼人	カヤックと僕
横手佐穂	妹と私

2 年

八幡昇伍	心のラリー
市園寧々	きつさを乗り越えて学んだこと

